

土木積算システムで表示されている内容について

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
00001 : 労務割増 2.000 ④ 普通作業員	人	1			単価補正 : *3.000 小計対象 : 【2】
00009 : 時間制約(1.71)夜 ③ 普通作業員	人	1			⑪ ○○○○○○○○○○○ ○○ ⑨ 管理区:9 ⑥ [1] ⑤ 単価補正 : *3.000 ⑦ 小計対象 : 【2】
00010 : 労務割増 2.000 掘削	m3	100			単価補正 : *3.000 小計対象 : 【2】
[入力条件]・・・土砂, オブソカト, 無し, 無し, 10,000m3未満 ⑩					
00002 : 時間制約(1.59)夜 掘削	m3	100			○○○○ 単価補正 : *3.000 管理区:9 [1] 小計対象 : 【2】
00003 [単価名称] ① [規格名称] ② 【支給品】 ⑧	式	1			管理区:9
00004 諸雑費(率+まるめ)	式	1			⑥ Σ [1] * 1.50%
00005 小計		1			⑦ Σ 【2】
合 計					

	項目	備考
①	単価名称	
②	規格名称	
③	昼夜区分	「昼間」の場合は、非表示
④	労務割増	
⑤	単価補正計算式	
⑥	諸雑費等の計算設定	
⑦	小計の計算設定	
⑧	資源区分	
⑨	管理費区分	
⑩	入力条件	
⑪	摘要	摘要内容

摘要
←⑪摘要
←⑨管理費区分
←⑥諸雑費等の計算設定

「⑤単価補正計算式」及び「⑦小計の計算設定」は、摘要欄の空いている行の上から表示されます。

ただし、「⑪摘要」「⑨管理費区分」「⑥諸雑費等の計算設定」については、左図で示している行に表示されます。

摘要欄が表示すべき情報が3項目以上の場合は、下に行を追加し表示されます。

共 SJ0010 号 端数区分 単価表 100 m2 当り

適用年版						
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
00013 主任地質調査員	R0502 人	1.111				
合 計						
		1	当り			端数区分：@4C 円/m2

令和元年7月1日基準から端数処理区分が設定されている設計書に表示されます。

令和3年1月から土木工事標準積算基準書（令和2年8月）の「休日作業の労務単価」が対応となりました。（令和2年8月1日基準及び令和2年10月1日基準についても対応）

補正值 × 割増対象賃金費

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
00002 :休日 1.350 × α 普通作業員	R0102 人	1	25,198	25,198	
00004 :休日 1.600 × α 普通作業員	R0102 人	1	29,863	29,863	

積算システムでは、以下のとおりの考え方で積算されています。

$$T = R \times k \text{ (小数点以下切り捨て)}$$

T：休日作業の労務単価

R：労務単価（所定労働時間8時間当りの単価）

k：k1 × α（小数第3位止め4位四捨五入）

α：割増対象賃金費（構成比）

k1：補正值

令和3年10月基準から「労務費調整係数による労務単価補正」が対応となりました。土木積算システムで表示されている内容は、「[横浜市土木積算システム-29](#)」のとおりとなります。